

## (6) 野木沢地区まちづくり計

### ○ 地区の概要・特性

野木沢地区は、石川町の西北に位置し、中野・曲木・塩沢の三行政区からなり、西は矢吹町、北は玉川村に隣接する中山間地の地区です。JR水郡線野木沢駅、国道118号線が地区の西側を南北に走り、福島空港まで10km以内と交通の便に恵まれた地域です。地区面積は約10.6km<sup>2</sup>、その内、農地が約43%を占めていますが、国営母畑農地開発事業で開拓された農地が利用されていないところが多く、また転作事業の休耕田等で荒廃しているところが目に付くのが現状です。その他、山林・原野が約34%あり、比較的勾配の緩やかな里山の原形が辛うじて残っています。

歴史的には石川氏の面影を残す藤田城址、曲木城址等を見ることができます。また、県指定文化財の悪戸古墳群、町指定の曲木石造塔婆群の指定文化財もあり、小和清水をはじめ平安時代の女流歌人・和泉式部にまつわる地名や伝説も多く残っています。

### ○ 地区の現状と課題

- ・世帯数は少しずつ増加していますが、人口はわずかずつ減少傾向を示しています。人口減少や少子高齢化は地域事業への理解と協力にも、今後支障が出るものと考えられます。
- ・少子高齢化が進む中で地域事業、共同作業、伝統行事等への参加の減少が心配されます。
- ・事業等の連携・共同開催、観光客(母畑温泉客等)・訪問者の積極誘致が必要です。
- ・各種団体役員等のリーダーが不足している状況にあります。
- ・将来に向けた地域事業等の運営資金の確保が必要です。
- ・地域事業等を通じた収入源の思索が必要です。
- ・母畑国営農地開発事業で開発された田・畑の土地の有効活用が求められています。
- ・天然資源を活用した販売品の考案が必要です。
- ・地区内外、町外への情報発信が必要です。

## ○ 事業計画

### 〔計画1〕 歴史を活かした事業

#### 〔目的〕

- ・地域の歴史的資産を活かした地域活動を、地域住民の意識高揚を図りながら展開し地域財産としての活用を図ります。

#### 〔取組内容〕

- ・藤田城跡整備 ・和泉式部の里づくり
- ・県指定、町指定等の文化財、地区景勝地との地理的連携
- ・史跡学習と地域づくり意識の高揚

### 〔計画2〕 自然を活かした事業

#### 〔目的〕

- ・豊かな自然を誇れる活動を進め、人と自然が暮らしの中で潤う地域づくりを目指します。

#### 〔取組内容〕

- ・禿山つつじ祭り ・禿山の公園の再生、整備 ・秋の収穫祭
- ・農地の活用を柱とした地域振興活動(中山間地等直接支払事業等)
- ・母畑温泉観光客を呼び込める地域興しや産業(農業)興し事業
- ・母畑国営農地開発事業で開発された土地の有効活用と特産品づくり
- ・豊かな自然を活かした安全・安心な作物づくり
- ・高齢者の生きがいと健康保持・増進が図られる自然を活かした環境づくり
- ・野木沢駅・R118号等の交通利便性の活用

### 〔計画3〕 伝統を後世に伝え地域住民の交流を図る事業

#### 〔目的〕

- ・地域の伝統を継承し、人と地域につながるの場と交流の機会をつくり、故郷文化の大切さを認識しながら後継者の育成を図ります。

#### 〔取組内容〕

- ・各地区盆踊りの継承と後継者の育成 ・各地区祭り
- ・盆踊り、祭礼等に関わる設備備品等の整備
- ・世代を超え相互交流ができる伝統行事等への取組み
- ・地域に残る伝説や民話、年中行事、俗地名等の調査や記録
- ・三地区公民館活動の継続・発展

手をつなぎ、明日の地域を興すために

・・・笑顔でつくる「の」「ぎ」「さ」「わ」

